



我が国のGXの加速に関する環境省の取組

GX実行会議（第17回）

2026年8月26日



GXに貢献する再生資源供給サプライチェーンの強靱化に向けて



- 我が国では石油・金属等の資源を輸入に依存する一方、国内のリサイクル原料の多くが焼却、輸出されている。中東情勢を受け、ナフサの輸入代替をはじめ、我が国としての資源確保は喫緊の課題。
- 今後、我が国産業が競争力を強化していくためには、一次資源の安定供給確保に加え、**二次資源である再生資源の質・量の確保と利用拡大を推進**し、国際的な資源獲得競争で優位に立つことが重要。
- 「循環経済行動計画」※に基づき、**金属資源の2030年再生材供給目標（メタルリサイクル推進戦略）の実現、ナフサ輸入代替としての再生プラスチックの国内製造力強化**に向け、多角的な経済的支援スキーム等を通じて官民投資を促進。我が国の基幹産業が必要とする質・量の再生材を安定供給するための**再生資源供給サプライチェーンの強靱化**に取り組む。 ※令和8年4月循環経済に関する関係閣僚会議決定
- その一環として、**脱炭素型のリサイクルに係る設備導入や技術実証の支援、再資源化事業等高度化法**に基づく認定制度等により、制度・支援一体でGXに貢献。
- また、**AZEC（アジアゼロエミッション共同体）構想**の一環として、同志国連携により資源循環の取組を進める。

メタルリサイクル推進戦略

2030年目指す姿

<鉄>

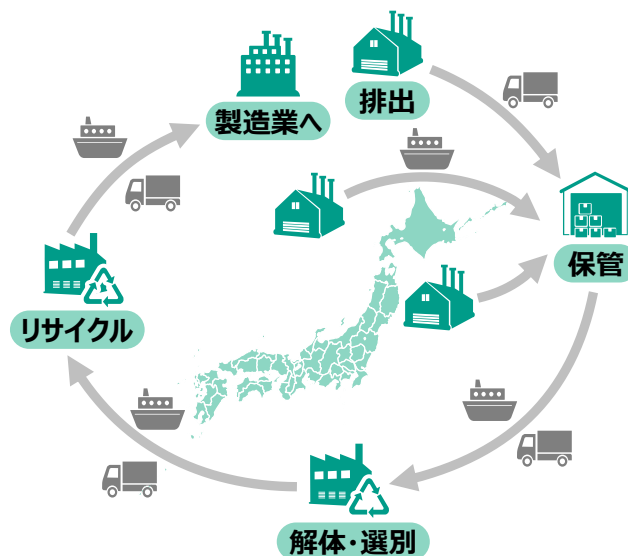


革新電炉で生産するグリーン鉄の原料となる高品位鉄スクラップを追加的に年間約200万トンを目安に確保

<アルミニウム> 展伸材※の再生アルミ原料比率の目安を約4割に
※板・棒製品

<銅> 国産電解銅の約3割を、e-scrap等の再生原料由来に
<永久磁石> 永久磁石の原材料の約3割をリサイクルによって賄う

再生資源供給サプライチェーンの強靱化



令和9年度概算要求案
66,351百万円＋事項要求
(GX予算20,080百万円を含む)

循環経済への移行と
脱炭素化を共に進め、
**産業競争力強化・
経済安全保障に貢献し、
我が国産業のGX実現を
目指す。**

- 企業のGX投資を促進するため、ペロブスカイト太陽電池やグリーン鉄等のGX製品について、政府による率先調達に加え、需要家への導入支援を行うことにより、GX製品の需要創出を推進。

ペロブスカイト太陽電池の需要創出

- **政府保有施設**において、一定の供給力の確保・コスト低減を前提に、**2035年に50～70MWの導入**を目指す。
- **自治体・民間企業等に対する導入支援**を実施（令和9年度概算要求案：28,000百万円）。
- 支援事業を踏まえた施工コスト・方法の分析・共有や、地域における施工・保守事業者の育成等により、施工費や人材不足等の**需要側の課題解消**を進める。



体育館屋根へのペロブスカイト太陽電池の設置（提供：滋賀県）

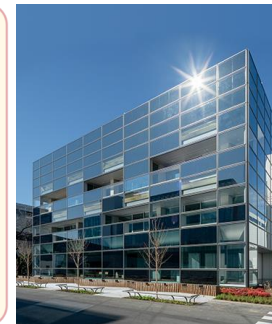
住宅・建築物の脱炭素化×GX製品等の需要創出

- 住宅・建築物の脱炭素化に向け、GX志向型住宅への支援、窓リノベ事業等の既存住宅の断熱・省エネ改修支援、ZEB化の新築・改修に対する支援等を実施（令和9年度概算要求案：154,700百万円）。
- 新築建築物の^{ゼブ}**ZEB※化に対する補助事業**においては、令和6年度から**ライフサイクルカーボン**を算定・削減する**取組**、令和8年度から**低炭素型の建材（鉄、コンクリート、木材）の活用**に対しても支援を実施。**建築物のライフサイクルカーボン評価制度の法定化**を踏まえ、こうした取組を一層推進。

※Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。
建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。



建築物のライフサイクル全体での温室効果ガス排出イメージ



大成建設ZEB実証棟
（日本初のZEB）
提供：大成建設（株）